

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	木更津市立木更津第一中学校
-----	----------	-----	---------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○国語については、「文章を読んで理解したことを知識や経験と結びつけ、自分の考えとして表現すること」に課題があることがわかった。書く領域は県・国の平均正答率よりも低い結果となり、本校の課題であることがわかった。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○教科指導と学級活動の双方向から書くことを中心とした表現力を高める学習活動を意図的に取り入れれば、国語科の表現力（書く力）の向上を図ることができるだろう。

3. 具体的な実践

○全学年で作文指導の実施・・・200字程度の作文を月に1～2枚のペースで取り組ませ、指導者による添削や、生徒間での相互評価の機会を設けている。

○「漢字練習」の時間の確保・・・授業冒頭の5分間を自主学習の時間として位置付け、生徒は自分のペースで学習に取り組めるようにしている。

○実践モデルプログラム「広げ深める」過程の充実・・・自分の考えを仲間へと伝えたり、仲間の発表から新たな考えに気づいたりする機会を設けることで、表現力が磨かれるように指導している。

4. 成果

○全職員で全国学力・学習状況調査の問題や結果を分析することで、生徒の学習課題について共通理解を図り、全教科で表現力を高めるための授業改善をしようとする意識改革をすることができた。

○実践モデルプログラムを全教科で活用することで、授業改善につなげることができた。

◆担当指導主事から

○全職員で生徒の課題を共通理解し、どの層の職員も「実践モデルプログラム」を活用した授業改善が図れていた。全教科で職員の意識の向上がみられた。